

競技者注意事項

1. 競技は、2011年度日本陸上競技連盟規則および大会申し合わせにより行う。
2. 競技者招集所は、100mスタート付近スタンド横にもうける。
3. 競技者招集方法は、次の通りである。

	招集開始時刻（競技時間の）	招集終了時刻（競技時間の）
トラック競技	20分前	15分前
フィールド競技	30分前	20分前

4. リレー競技に出場するチームは、競技開始1時間前までにオーダー用紙を競技者係に提出する。（オーダー用紙は競技者係に備えてある）（リレーオーダーについては中体連規則に準ずる）
5. 2種目以上兼ねて出場する者で、同時刻の行われる他の競技と重複する場合は、競技者係および審判員に申し出て、競技の進行に支障のないようにすること。
6. 招集完了後、競技者は競技者係の誘導に従うこと。
7. ナンバーカードは、ユニホームの胸と背に正しく付ける。ただし走高跳はどちらか一方でよい。競技終了後、市内中学生は本部（顧問の先生）に返却する。
腰ナンバーカードは、競技者係で受け取り、右腰に付けて最終コールを受ける。ゴール後、所定の位置に返却する。
8. トラック競技のレーン順は、およびフィールド競技の試技順はプログラム記載の順序による。決勝のレーン順は本部で決定する。
9. 400mまでの競技については、スターティングブロックの使用を、認める。
10. 800m以上の競技のスタートはオープンスタートとする。
11. 中学生の100mは、タイム順に上位8名までが決勝に進むことができる。同記録の場合は抽選とする。
12. 小学生の50m・100mおよび中学生のハードル競技・200m以上の競技は、すべてタイムレースとし、記録順に順位を決定する。
13. 小学生の立幅跳・走幅跳の試技は一人3回とする。
中学生の走幅跳・砲丸投の試技は3回行い、上位者8名がさらに3回の試技を行いベスト記録により順位を決定する。
14. 走高跳のバーのあげ方は次の通りとする。

	中学生女子	中学生男子	一般女子	一般男子
練習の高さ	1m05	1m20	1m30	1m55
最初の高さ	1m10	1m25	1m35	1m60

以後、最後の一人になるまで5cmきざみとする。荒天の場合は変更もある。

15. 競技に使用するよう器具はすべて競技場備え付けのもの（主催者の用意したもの）を使用する。
16. 本競技場は全天候舗装のため、競技規則第139条②③④⑤⑥項を適用する。
(スパイクのピンの長さは9mm、フィールド競技の走高跳に限っては12mm以下)
17. 競技者および関係者以外は、競技場に入らない。
18. 更衣室およびスタンドの美化に心がけ、ゴミは必ず各自持ち帰る。
19. 表彰は、1位より3位までに賞状ならびにメダルを授与する。
20. 競技中における競技者の負傷等についての応急処置は本部で行うが、その後については責任を負わないので十分注意すること。
21. 中学校対抗は、1位から6位までを得点とし、1位6点、2位5点、・・・以下6位1点の点数をつけ、その合計で学校順位を付ける。ただし各種目上位2名のみを得点とし、3名以下は得点に含まない。
22. 中学生対抗の部で、各種目上位入賞者の中から第64回東京都中学校支部対抗陸上競技大会（10/15.16駒沢オリンピック公園陸上競技場）への出場選手を大会終了後の顧問会議において決定する。